

# 保健体育科「2年保健」実践紹介

担当者：木村 大輔  
 学年：普通科2年  
 単元：大気汚染・水質汚濁・土壌汚染と健康

単元のねらい（7つのチカラ：3.考える力、5. コミュニケーション力 等）

- ・環境問題について調べたレポートを、グループ内で発表する

単元・授業の流れとパフォーマンス課題（全3時間）

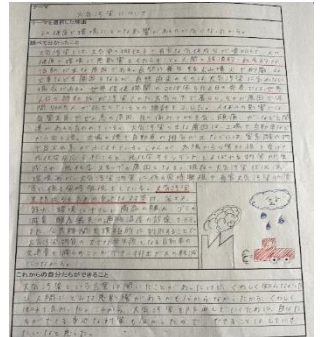
## ①環境問題レポートテーマを決定

- ・大きなテーマだけでなく設定せず、大気汚染ならダイオキシン・光化学スモッグ・フロンガスなど、テーマを絞ることも可能とした。
- ・レポートの書き方の構想を練る。



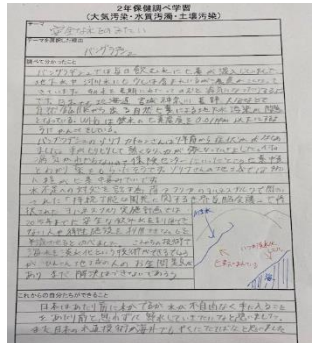
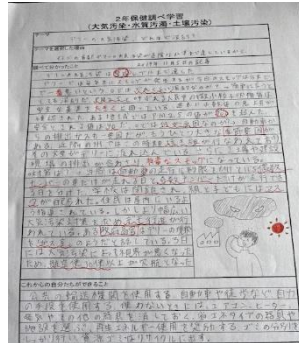
## ②環境問題レポート作成

- ・iPad・教科書を使い調べる。
- ・文字を丁寧に記入し、重要箇所には色を付け、見やすくする。
- ・表・グラフ・イラストなど、見やすい資料を1つは記入する。



## ③グループ発表

- ・6つのグループに着席し、流れの説明を聞く。
- ・発表順を決めて、発表準備をする。
- ・1人3分発表→質疑応答・振り返り2分。（全発表で約25分）



【グループ発表の様子、生徒作成した環境問題レポート】

## パフォーマンス課題の評価

項目	2点	1点	0点
レポート作成	関心あるテーマについて、詳しく丁寧な内容にまとめている	関心あるテーマについて、おおむねまとめている	レポート内容が不十分でまとまっていない
発表時のプレゼン態度	大きな声で自分の言葉で、レポート内容を分かりやすく説明している	レポート内容をおおむね説明している	声が聞こえにくく、内容が分かりにくい
聞き取る力 理解する力 書く力	仲間の発表を真剣に聞き、内容をしっかり理解し、コメントが書けている	発表を聞き、内容をだいたい理解し、コメントが少し書けている	発表を真面目に聞かず、理解しようともせず、コメントが書けていない

## 単元を通して身につけてほしいこと

- ・環境問題をわが事として捉え、調べた内容をグループ発表で他者に伝え、また自らも新たな知識を吸収する。活動を通じて、環境問題の改善や解決に、仲間と一緒に取り組む姿勢を養う。
- ・1つのテーマをさらに深く調べ、教科書に載っていない情報や最新の情報を取り入れようとする。

## 実践の背景

- 本校の2年生は、1年生の時からiPadが貸し出され、教材として調べ物に活用したり、また発表資料を作成したりと、様々なiPad活用にチャレンジしてきた学年です。今回の単元を、大きくまとめると環境問題です。この環境問題は、1人ひとりが当事者意識を持ち、限られた資源をより大切にして生活を営むこと。また、みんなで取り組むことが、改善・解決していくためには大変重要なことで、地球規模の難題です。私自身も、これからを担う生徒たちと一緒にこの問題に取り組みたいと思い実践しました。
- 近年の情報化の加速により、情報の入手そのものはすごく早くて簡単に行えるようになりました。しかしながら、そのインプットした情報をきちんと周囲の人にアウトプットできているかという点については、まだ生徒たちは苦手としているように思えました。そこで、レポート課題でしっかりと調べた後には、仲間と個人の知識を共有する“発表の場”をもち、生徒たちのアウトプットする力を養えればと考えました。

## 授業改善のアプローチ

- 生徒たちにはデジタルデータでのレポート作成に取り組ませることも考えましたが、入力に時間がかかることなども考慮して、今回のレポート作成は紙にしました。しかし取り組みを終え、生徒の能力の高さを感じ、今後はデジタルデータにチャレンジも可能と考えました。
- 高校2年生で終わってしまう保健というこの科目を、どう生徒たちの中に残して、その後の人生に役立ててもらえるかということを考え、教員主導の授業では行わないようにしました。

## 生徒の変容

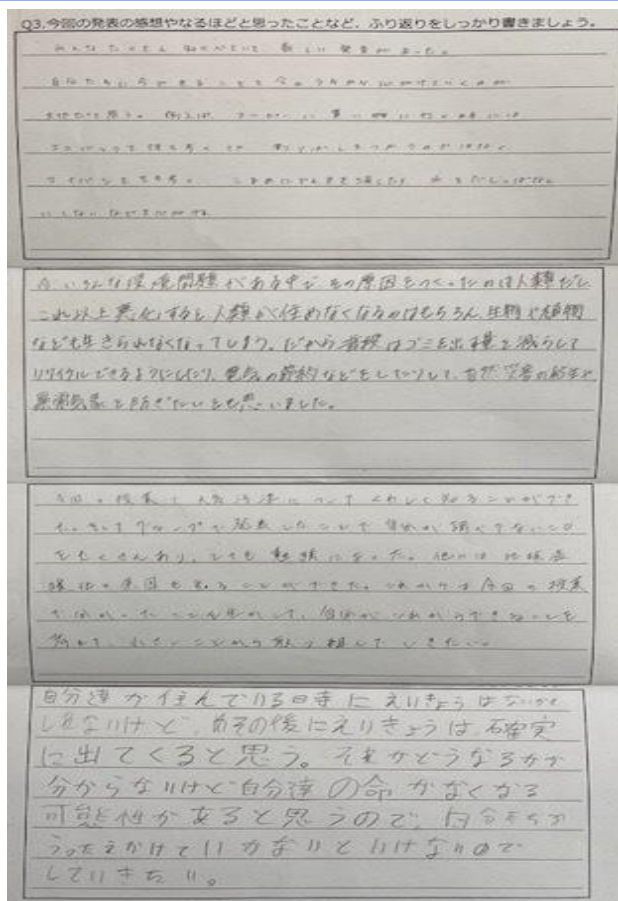
### （考える力）

活動後の生徒たちのコメントを見ると、深刻化している環境問題も実情に、「驚いた」「怖い」「このままではいけないと感じた」などが多く記入してあった。授業の最後に、「これから社会人になる君たちが、もし企業の社長になったら、環境問題改善のために何をやる？」と聞くと・・・。

生徒たちは、「ゴミをゴミ箱に！」「クールビズ！ウォームビズ！」「緑のカーテンを作る！」「会社の車を電気自動車にする！」「会社内でのメルカリをする！」など、活発に意見が出ました。当たり前は、ありがたい。便利になることを優先しすぎず、今ある物を大切に、エコライフを行う重要性を再確認していました。

### （コミュニケーション力）

普段の保健では個人での取り組みが多いですが、今回の活動では生徒同士が協力しながら、レポート作成からグループ発表までを行うことができました。最後のグループ発表のプレゼン後には自然と拍手も出て、お互いに質問やコメントも多く発せられました。発表グループについては、こちらが予め指定をしましたが、男女での協力も見られ、普段は関わりが少ないクラスメイトともこの時間は関わる事ができたようでした。



【生徒のふりかえり】

## 評価

- ①授業プリント・ノートなどの提出物・・・25%
- ②パフォーマンス課題に対する評価・・・15%
- ③定期考査・・・60%